

YAっうしん 2016年夏号



©和光市

『YA通信』は、中高生向けの情報を発信していく図書館情報紙です。
3月(春)・6月(夏)・9月(秋)・12月(冬)の年4回発行します。
今回は第6号です! 課題図書を紹介や、夏休み子どもつどいにておなじみの
ビブリオバトルの特集を組みました。ぜひ読んでくださいね♪

~YAって何?~

そもそもYAって何?と思う人も多いかと思います。
YA(ワイエー)とはYoung Adult(ヤングアダルト)の略称です。
主に、中学生・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」
を指した〈若い大人〉という意味の言葉です。
この時期は、体だけでなく心も育つ大切な時期です。
読書が一番必要な時期ともいえます。
だけど、児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない・・・。
そんな世代に向けて、和光市図書館には「YA図書」を集めた〈YAコーナー〉
があります!
小説や職業、進学、料理、スポーツ、電撃文庫などの人気ライトノベルも!!
是非、自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

マンガコーナーに新しいマンガが仲間入り!



◆手塚治虫 著
ジャングル大帝(全2巻)
三つ目がとおる(全10巻)
ユニコ(全2巻)

◆横山光輝 著
三国志(全30巻)



◆大和和紀 著
あさきゆめみし(全7巻)

◆浦沢直樹 著
MONSTER(全9巻)



◆手塚治虫・赤塚不二夫[他] 著
原水爆漫画コレクション(全4巻)



和光市図書館では毎年「夏休みこどもの集い」にてビブリオバトルを開催中！
ビブリオバトルってなあに？というあなたも、これを見れば一目瞭然！！
さあ、あなたもお友達を集めてビブリオバトルをやってみよう！

ビブリオバトルって何？

ビブリオバトルとは、「**人を通して本を知る、本を通して人を知る**」というキャッチコピーの子どもから大人まで誰もが行える本の紹介コミュニケーションゲームです。
必要なのは本とカウントダウンタイマー、そして発表する自分自身、たったこれだけ！
「読書」をたくさんの人と楽しむことができる、ライブ感溢れるゲームです。

ビブリオバトルのルールって？

ビブリオバトルには公式ルールがあります。ルールを守って楽しくプレイしましょう！

1. 本を選ぶ

みんなの前で紹介する本を1冊選ぼう！
ジャンルは不問、どんな本でもOK。
自分で読んで面白かった本を選ぶのが
オススメです。

2. 発表する

発表時間は**きっちり5分**。
それ以上でもそれ以下でもありません。
原稿を持たず、配布資料も配らずに
ライブ感を持って発表しましょう！

3. 議論する

発表が終われば参加者全員で2～3分の
ディスカッション！
揚げ足をとったり批判をするのはNG！
あくまでもチャンプ本を選ぶための
質問をしましょう！

4. チャンプ本を選ぶ

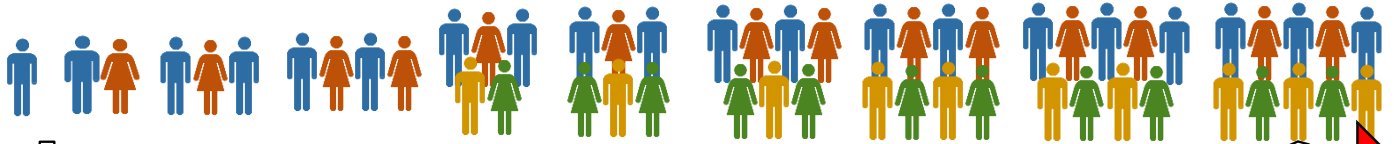
全ての発表を終えたら…
一番読みたい！と思った本にひとり一票
投票して、チャンプ本を選びます！
自分の発表した本に投票せずに
他の人の本に投票しましょう！

※はじめての場合は5分の発表だと難しいかも…
そんなときは「ミニ・ビブリオバトル」がおすすめ！
発表時間を5分から3分に縮めた、公認アレンジルールです
和光市図書館もこのルールで行っています。
ただしあくまでも本式のルールでは「5分」であることを
みんなで理解しておきましょう♪



ビブリオバトルの人数は？

4～6人が適正です。大会規模になると8～10人くらいがちょうどいいかもしれません。
(和光市図書館では8人前後の大会形式で行っています！)



少 ちょうどいい!

多

ビブリオバトルについてもっと知ろう！

ビブリオバトルについて書かれた本を読んで、より知識を深めましょう！
和光市図書館でも所蔵のあるものをいくつか紹介します♪



ビブリオバトル
本を知り人を知る書評ゲーム
谷口 忠大 [著]

ビブリオバトル考案者の
谷口忠大さんの著書です！
ビブリオバトルのことなら
まずはこの1冊！



ビブリオバトルを楽しもう
ゲームで広がる読書の輪
粕谷 亮美 [著] 谷口 忠大 [監修]

図書館司書と子どもの目線で
ビブリオバトルの基本を
語った入門書です。
実際の感想も載っています！



マンガでわかる
ビブリオバトルに挑戦！
谷口 忠大 [原案・監修]

学校で行うビブリオバトルが
テーマのこの一冊は
マンガになっているので
読みやすくオススメです！



翼を持つ少女
BISビブリオバトル部
山本 弘 [著]

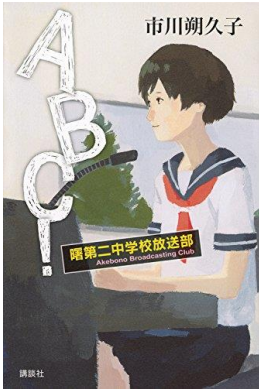
なんと、ビブリオバトルが
テーマのシリーズ小説です！
ビブリオバトルでこちらを
発表するのも面白いかも！？

ビブリオバトルはとっても簡単！明日からでもできちゃいます！
でも、はじめてだとどうやっていいか不安ですよ？そんなあなたに朗報です♪
和光市図書館で開催する「夏休み子どものつどい」(※8/5 午後開催予定)では
市内中学生が発表者となって行うビブリオバトルの見学が可能です！
事前受付は不要です。見学の際は直接図書館までお越しください。
当日は見学に加え、チャンプ本への投票もできますよ～！
また、見るだけでなく**当日バトラーとして参加してみたい！**という方は
7/25 (月) までに和光市図書館までご連絡・ご相談ください♪
※「ビブリオバトル」日程は変更になることもあります。あらかじめご了承ください。

青少年読書感想文全国コンクール課題図書紹介

ABC! 曙第二中学校放送部

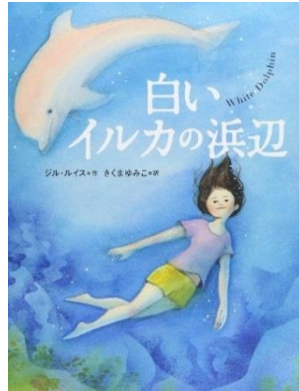
市川 朔久子 著/講談社



たった二人の部員しか居ない放送部に所属するみさと。廃部の危機を救うため、孤高の美少女葉月、密かに思いを寄せる新納、後輩の珠子を加え大会に出場するのですが、数々の問題が... みさとと葉月の過去に注目です！

白いイルカの浜辺

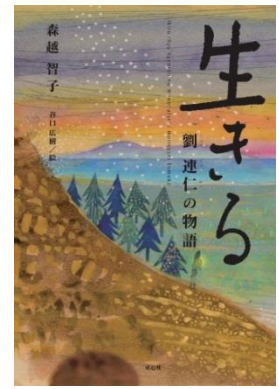
ジル・ルイス 作/評論社



野生のイルカの調査中に行方不明になった母の帰りを待つカラ。そんなある日、彼女は浜辺で傷ついた白いイルカと出会います。美しい自然の描写が光る、少女の成長物語。環境問題についても考えさせられる一冊です。

生きる 劉連仁の物語

森越 智子 作/童心社



1944年、中国から日本へ強制連行された劉連仁。過酷な強制労働から逃げ出した彼は、13年間北海道で潜伏生活を送りました。その孤独な戦いと魂の叫びは、人間としての尊厳や戦争の悲惨さについて考えさせられます。

タスキメシ

額賀 滯 著/小学館



高校三年生の眞家早馬（まいえそうま）は、怪我をして陸上部を休部中。そんな折、同級生で調理研究部の都に料理を習いはじめその楽しさに目覚めていくのだが...爽やかでほろ苦い友情と挫折、兄弟愛が光る小説です。

ハーレムの闘う本屋

ルイス・ミショーの生涯

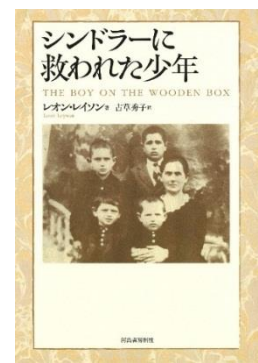
ヴォンダ・ミショー・ネリソ著/あすなる書房



1939年、「黒人は本を読まない」と言われていた時代に、黒人のための本屋を開業したルイス・ミショーについての伝記的小説。ルイスとその周囲の人の語りで進められる物語は、まるで一本の映画を見ているかのようです。

シンドラーに救われた少年

レオン・レイソン 著/河出書房新社



みなさんは「シンドラーのリスト」という映画をご存知ですか？この本は、映画にも登場する少年が書いたものです。ホロコーストの恐ろしさとシンドラーの勇気、感じるものも多いはず。読後はぜひ映画も見てください！